

## 報告要旨見本

題目は（副題があればそれも）  
11ポイントで中央寄せ  
副題も含めて、一字一句誤りのないように

### 1 目的

この報告の目的は・・・

氏名・所属のあと1行あけて本文  
形式は自由（この様式通りに「1 目的、  
2 方法・・・などとする必要はない）  
最小1500字程度（1ページ使用）～  
最大4300字程度（2ページ使用）  
本文は原則として9ポイント

### 2 方法

そこで、データとして・・・

×××××の研究

——×××××の検討を通じて——

### 3 結果

分析の結果、・・・

MSWord A4版、2ページ以内におさめる  
本文以下は二段組み  
フォントは明朝（MS明朝推奨）  
1行あたり字数、1ページあたり行数、段  
の幅や間隔は、この様式に準拠する  
上下左右すべてに余白20mm

○犯社花子（○○○○大学）  
研究太朗（○○○○研究所）

題名（副題）のあと1行あけて、  
氏名と所属（9ポイントで右寄せ、  
大会プログラムの表記と一致させる）  
所属は丸括弧に入れる  
連名の場合は全登壇者に○を付す

ページ番号は入れない

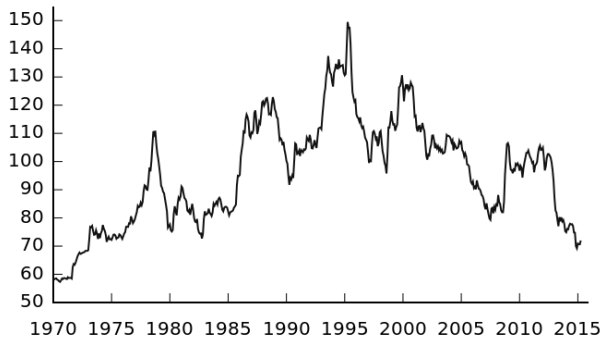


図 1 ○○○○○の推移 (1970~2015年)

モノクロに限り図表を使用してもよい。ただし余白にはみ出さないよう、本文中に貼りこむこと鮮明に印刷されることを提出前に必ず確認すること

文献  
 犯社華子, 2007, 「××における×××××」『犯罪社会学研究』32: 35-50.  
 研究一郎, 2012, 『××××の研究』×××××出版会.

文献の記載方法は、『犯罪社会学研究』投稿規程に準じる

.....。

4 考察

本報告では、.....